

# 夏瀬の森

## だより

平成二十九年八月二十五日 第七十六号  
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文



### 田殿の郷に夏を迎える花火大会

今年も無事に夏祭り宵宮の七月十日、奉納花火大会を開催することができました。色々な方からよく「あの高く打ち上げる花火ですか」「そんなこと、ひとつの神社でできるのですか」と問われることがありますが、無理もありません。このような形で氏子様方の手ですべて運営し、氏神様に奉納してくださる花火大会は県下、全国でも珍しく、いつもありがたく思っています。潤沢な資金があれば総代さん方にご苦勞をかけることもないのですが、ここ数年苦しい状況が続く中で、マスコミに取り上げられるような派手なことはできませんが、氏神様や氏子様方に、少しでも楽しいひとときを過ごしていただければ、自ら汗を流して下さいます。



敬神婦人会の方々には厄除けの「ちまき」やジュースの販売、総代さん方には花火打ち上げ場所や駐車場の草刈り、提灯吊り、交通整理と、毎年のことながらご苦勞をおかけしました。提灯の電線もかなり年季が入っており、いざ点灯、即ショートとなつて慌てたりと、いろんな汗もかきました。が、皆さんの知恵と、警察や消防署、学校や地域の生活指導員の方々のおかげで事故もなく、月曜日にもかかわらず、勢のかかわらず、大勢の方々に楽しんでいただきました。ありがとうございます。とうございませう。



翌十一日には神前式を執り行い、夏の天災や病害虫に遭わないようにとの祝詞を奏上し、総代様方とともに玉串を奉奠し、田殿の郷に本格的な夏をお迎えしました。

### 水無月の夏越の祓ひする人は千歳の命延ぶというなり

『拾遺集』よみ人知らず

七月三十一日、夏越大祓式を執り行いました。早朝より総代様が昨年から大切に見守ってきた場所できれいな「茅」を刈り取り、鳥居の下に直径約3mの大きな茅の輪を作ってくださいました。午後八時から宮司が大祓詞を宣読し、



切麻（きりぬき：細断した和紙、米、麻）で参拝者は各自、身を清め、その後、穢れを移し様々な願いを込めた人型を薦で包み、総代様が奉持し、全員が茅の輪を8の字にくぐって有田川に人型を流しました。



当日は例年のような心地よい川風がなく、夜になっても猛暑が収まりませんでした。今年も浴衣姿のご婦人も浴衣姿の涼しげな方が、菓子とお抹茶で百人以上の方を笑顔で接待してくださいました。参拝された方々は玄関や車、鞆につける御守りの輪を作るための、茅の輪から抜いた茅を手にお抹茶をいただきながら談笑し、昼間の疲れを癒やしておられました。



### 平成三十三年からの三面は

七月三十日の夜、第一回三面検討委員会を開催いたしました。秋の田殿祭に奉納して下さる三面（獅子舞）をどのような形で将来に向けて伝承していけばよいのかを、過去に三面の経験をし、現在は次の世代に引き継いで下さっている各字の代表の方々へ検討していただきました。今年の一番号（三面責任区）は出区。四十戸余り字ですが、すでに選手、役員は春に決めて下さり、八月下旬より練習も始めて下さり、順で平成三十二年までは責任区は決定してありますが、平成三十三年以降、輪番の始めに戻って各字で奉納して

いただくのか、別の方法で行うのか、難しい課題に取り組んでいただいています。地域内の人々の絆を固める意味においても現在の方法が最も良いことは全員の一致した考えですが、人口減の中で、特に小さな字では運営が非常に困難になっていきます。九月始めには再度検討会を開催し、九月十八日の馬寄せ（例祭打合せ）にはその内容を報告させて頂いたと思います。どうか良いお知らせを下さい。



### 有田郡市総代大会において

#### 徳常金伸氏が有田支部表彰

八月十九日、有田市にて有田支部の神社総代大会が開催されました。その場で、当神社の責任役員、徳常金伸様が神社庁有田支部長より表彰されました。徳常様は今年で五年目（総代二年、責任役員三年）のご奉仕になります。支部長表彰はひとつの区切り、どうか末永くお力を賜りますようお願いいたします。おめでとうございます。

### 年々腕を上げる 子ども笛太鼓

五年目となる子ども笛太鼓（子どもだんじり）が、今年も田殿小学校の三年生から六年生まで、あわせて四十三人の子どもたちが笛と太鼓の奉納に手をあげてくれました。練習は九月一日より田殿小学校にて放課後に行われます。今年も青木茂様（角）勝丸利和様（尾中）岩崎利弘様（尾中）の三名の方がご指導下さいます。年々子どもたちのレベルが上がって今年もご期待下さい。



### ホームページへもお越し下さい

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tadononyujinjya/>